

文化力と価値創造に関する特別委員会 議事次第

（令和8年5月15日（金）  
午後1時30分～  
於：第4委員会室）

1 開 会

2 中間報告

3 委員会活動のまとめ

4 そ の 他

5 閉 会

## 文化力と価値創造に関する特別委員会 出席要求理事者名簿

【文化生活部】	
文化生活部副部長(文化振興担当) (文化政策室長兼務)	梅 原 和 久
文化生活部理事 (ACK・AFK担当)	大 石 正 子
文化芸術課長	松 村 明日香

【農林水産部】	
※流通・ブランド戦略課長	山 川 彰 宏
※農産課参事	松 田 智 宏

【商工労働観光部】	
観光室企画参事	牧 哲 也
産業振興課参事	足 立 真理子
※産業振興課参事	安 井 美 幸
※染織・工芸課長	中 埜 博 之

【教育委員会】	
高校教育課長	小 西 良 尚
文化財保護課長	石 崎 善 久

( 計 11 名 )

※議事内容に応じ、必要な理事者を適宜追加

※ 新任理事者

令和8年5月 日

京都府議会議長 荒 卷 隆 三 殿

文化力と価値創造に関する特別委員長 林 正 樹

文化力と価値創造に関する特別委員会中間報告書

京都府議会議事規則第46条第2項の規定により、令和7年5月府議会臨時会閉会後から現在に至るまで、本委員会が調査及び研究してきた状況について、別紙のとおり中間報告いたします。



(別紙)

## 文化力と価値創造に関する特別委員会中間報告書

### 1 本委員会の設置目的

伝統文化、生活文化などの継承・発展や文化と観光、食、伝統産業、先端産業などあらゆる分野との融合により、新たな価値を創造し、発信するための施策について調査し、及び研究する。

### 2 本委員会の活動状況

#### (1) 委員会の開催について

- 令和7年6月10日、第4委員会室において、関係理事者から所管事項に係る事務事業概要について説明を聴取した。また、今期の委員会運営方針について協議を行うとともに、今後の調査・研究テーマに係る委員間討議を行った。
- 令和7年6月26日、第4委員会室において、株式会社オマツリジャパン 取締役 菅原 健佑 氏を参考人として招致し、「地域文化の保存・継承の取組について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から祭りをはじめとする伝統行事等の文化継承に向けた方策や具体的な取組について、説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。また、所管事項の調査等を踏まえ、委員間討議を行った。
- 令和7年9月29日、第4委員会室において、池坊短期大学 教授 森川 佳代 氏を参考人として招致し、「次世代への文化継承の取組について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から、高校での伝統文化活動など、次世代への文化継承の取組について、説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。また、所管事項の調査等を踏まえ、委員間討議を行った。
- 令和7年12月15日、第4委員会室において、学校法人京都精華大学 理事長 吉村 和真 氏を参考人として招致し、「文化資源としてのマンガ・アニメの可能性について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から、マンガミュージアムの取組や文化資源としてのマンガ・アニメをめぐる近年の動向と今後の展望などについて、説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。また、所管事項の調査等を踏まえ、委員間討議を行った。

- 令和8年3月10日、第4委員会室において、京都府立大学 名誉教授 菱田 哲郎 氏を参考人として招致し、「埋蔵文化財の保護・活用と地域との共存について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から、文化財の保護・活用に関する考え方、埋蔵文化財の保存方法、地域資源としての埋蔵文化財や教育分野における活用などについて、説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。
- 令和8年5月15日、第4委員会室において、-----  
-----

## (2) 管外調査の実施について

以下の取組について調査を行った。

- 調査日：令和7年8月25日

調査先：公益財団法人足立美術館（島根県安来市）

調査事項：地域文化の発信拠点としての足立美術館の取組について

足立美術館は、島根県安来市出身の実業家・足立全康氏によって昭和45年に設立、同年11月に開館し、現在は公益財団法人として運営されている。同氏は、自ら収集した美術品を多くの人に鑑賞してもらう方法を模索する過程で、日本庭園の拝観をきっかけに来館者を呼び込み、美術品にも触れてもらいたいとの思いから、日本庭園を併設した美術館の設立に至った。

約16万5千㎡に及ぶ敷地の中心に本館などの建物があり、それを取り囲むように枯山水庭や、横山大観の絵画をモチーフにした白砂青松庭などが広がっている。館内には横山大観、竹内栖鳳、橋本関雪、川合玉堂、上村松園ら近代日本画の巨匠の作品を多数所蔵し、常時250～350点を展示している。また、北大路魯山人の陶芸や書のほか、童画、木彫、漆芸など、総所蔵点数は約2,000点にのぼる。

庭園は専属庭師による年間を通じた手入れに加え、職員全員で毎朝清掃を行うなど、館全体で維持管理に取り組んでいる。その成果として、アメリカの専門誌による庭園ランキングで22年連続日本一に選ばれ、国内外から高い評価を得ており、令和6年度には外国人来館者が約3万7千人に達し、前年から約1.3倍に増加した。多言語対応のパンフレットや音声ガイドも整備し、日本庭園の魅力を世界に向けて発信している。

今後も、日本画と庭園が調和する空間を通じて、日本文化の振興に寄与していくとのことであった。

○調査日：令和7年8月25日

調査先：島根県議会〔於：島根県立八雲立つ風土記の丘〕

〔現地視察：山代二子塚古墳〕（島根県松江市）

調査事項：歴史資源を生かした地域文化の創造と継承の取組について

島根県では、文化財の調査・保存・活用を通じて郷土への愛着と人々の交流を促進する文化財行政の取組を展開している。令和3年には、文化財を「知る・伝える」「守る・つなげる」「活かす」の三本柱の好循環を目指す「島根県文化財保存活用大綱」が策定された。古代出雲歴史博物館の企画展において古代文化センターなどでの調査研究成果を発信する循環型の取組が特色となっている。教育分野では、専門職員が県内の小中学校に出向き、本物の文化財に触れる出前授業「心に残る文化財子供塾」や、地域の文化財を題材としたふるさと教育を実施している。また、冊子「文化財活用のススメ」の作成・配布などを通じて地域住民による文化財の利活用を促進する取組を進めている。

昭和47年に開設された「八雲立つ風土記の丘」は、松江市大庭・竹矢地区に広がる史跡群と古代的景観を活用した、出雲圏域のフィールドミュージアム化を目指す整備事業の中核施設として位置付けられている。全国唯一の風土記植物園では当時の植生を再現しているほか、展示学習館では出土品や風土記の写本を通じて古代の生活や信仰を学ぶことができる。また、出雲国庁跡や山代二子塚古墳などの点在する重要遺跡への誘導のため、レンタサイクルの無料貸出しも行っているほか、古代出雲に関する講演会や体験型イベント、ボランティアガイド養成講座、子ども向け展示など、史跡を生かした多彩な展示・体験プログラムも展開されているとのことであった。

○調査日：令和7年8月26日

調査先：境港市議会〔於：水木しげる記念館〕（鳥取県境港市）

調査事項：水木しげる記念館と水木しげるロードを中核とした文化観光拠点の整備について

境港市では、「水木しげる記念館」と「水木しげるロード」を中核とした文化観光拠点の整備が進められている。令和3年には、文化庁から文化観光推進法に基づく拠点計画として「水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画」が認定され、地域資源を生かした観光振興と文化継承の取組が本格化した。計画では、記念館の魅力向上、ロードの滞在型観光推進、水木作品に描かれた聖地への周遊促進、インバウンド対応のための環境整備の4項目を重点事業として掲げ、地域関係者と連携した事業が展開されている。

中核施設である水木しげる記念館は、同市出身の漫画家・水木しげる氏の人生と作品世界を紹介する施設として平成15年に開館した。料亭を改装して活用していたが、施設の老朽化や展示機能の不足が課題となり、令和6年4月に鉄骨造2階建ての新館としてリニューアルオープンした。延床面積は旧館の約1.5倍となり、同氏の作品づくりにも影響を与えたとされる戦争体験に関する資料や映像展示など、内容の充実が図られている。運営は、著作権者である株式会社水木プロダクションをはじめとした共同事業体が指定管理者として担っている。

市では、記念館の再整備を契機に平和学習プログラムを作成し、市内児童生徒を対象とした取組を開始した。今後は教育旅行の誘致も視野に入れ、港湾・漁港・空港の3つの“港”を生かしたまちづくりとともに、文化と観光の融合による地域活性化を推進していくとのことであった。

○調査日：令和7年8月26日

調査先：どんちっちサポート IWAMI

〔於：浜田まちづくりセンター〕（島根県浜田市）

調査事項：石見神楽の保存・伝承に向けた取組について

石見神楽は、島根県西部・石見地域に伝わる伝統芸能であり、神社の祭礼などで神々に奉納される舞として、浜田市を中心に地域に深く根付いている。勇壮な舞、豪華な衣装、迫力あるお囃子が特徴で、「見て楽しい神楽」として広く親しまれている。この神楽をテーマにしたストーリーは日本遺産に認定され、石見神楽をはじめ、大元信仰に由来する大元神楽に関連する史跡、伝統芸能、工芸品など計52件が構成文化財として登録されている。浜田市では50を超える神楽継承団体が定期的に上演を行っているほか、衣装や面、和紙の製造など神楽関連産業も地域文化の振興に寄与している。

どんちっちサポート IWAMI は、石見神楽を通じて子どもたちと地域の未来を育む非営利団体であり、浜田弁でお囃子を表す幼児語「どんちっち」を名称に用いている。「知る・舞う・学ぶ」を活動の柱とし、神楽フェスタや地域イベント、神社清掃、石見神楽カルタ大会、ふるさと教育授業への講師派遣などを通じて、子どもたちが神楽に触れる機会を提供している。令和7年の大阪・関西万博に合同チーム「はまだ子ども石見神楽」が出演した際には、市からの依頼を受け、同団体が準備から引率まで中心となって取り組んだ。

地域の人口減少や神楽に興味のない層への理解促進、子どもたちの発表の場づくりなどの課題もあるが、今後も行政や経済界との連携を深め、神楽文化を日常に根付かせる持続可能な仕組みづくりを目指していくとのことであった。

○調査日：令和7年8月27日

調査先：島根県議会

〔於：島根県芸術文化センター「グラントワ」〕（島根県益田市）

調査事項：島根県芸術文化センター「グラントワ」の取組について

島根県芸術文化センター「グラントワ」は、島根県立石見美術館と島根県立いわみ芸術劇場を併設する複合文化施設として、平成17年に益田市に開館した。愛称「グラントワ（Grand Toit）」はフランス語で「大きな屋根」を意味し、施設には石見地域の伝統産業である石州瓦が屋根に約12万枚、壁面に約16万枚使用されている。

美術館には、広さや天井高、構造の異なる4つの展示室があり、展示内容や作品のコンセプトに応じて使い分けられている。劇場には、1,500人収容の大ホール、400人収容の小ホールのほか、多目的ギャラリーやスタジオを備えている。

同センターは、石見地域における文化芸術の拠点であると同時に、地域振興の拠点としての役割も担っており、開館以来20年間、美術・音楽・演劇などの分野が相互に協調しながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供してきた。地元の学校や団体との連携による芸術教育の普及や、地域にゆかりのある展示・公演の実施を通じて、地元住民の文化力の育成と地域アイデンティティの醸成に貢献している。特に開館20周年を迎えた今年は、島根県にゆかりのある芸術家の展示に力を入れている。

また、独自企画「ミュージア（MUSEUM×THEATER）」では、美術館と劇場がそれぞれの特性を生かしてコラボレーションを行い、多様な演出の公演やワークショップを開催するなど、美術と舞台芸術の融合による新たな魅力と価値の創造に取り組んでいる。今後も、地域とともに新しい芸術文化の創造を目指していくとのことであった。

### 3 本委員会の所管に係る主な動き

- 令和7年4月から10月にかけて、京都府は、日本茶の歴史を再認識し、お茶に親しむ府民の裾野を広げるとともに、大阪・関西万博を契機に京都を訪れる国内外の人々をもてなし、京都のお茶の文化を広く世界に発信するため、「きょうとまるごとお茶の博覧会2025」を開催した。
- 令和7年6月、京都府は、「文化が活きる京都の推進に関する条例」に基づき、文化が活きる京都の推進の総合的かつ効果的な実施を図るための基本的な指針を策定した。
- 京都府・京都市では、令和7年10月から11月を「京都アート月間」として、京都市内各地で開かれるアートイベントや展覧会をつなぎ、京都ならではの文化や風景

のなかでアートを満喫できる機会を創出した。

- 令和8年2月、史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）が京都府内で70年ぶり4件目の特別史跡に指定された。
- 令和8年2月、京都府と学校法人立命館は、立命館大学デザイン・アート学部の開設を契機に、デザイン・アートを起点とした地域活性化をはじめとした多様な連携を進めるため、包括協定を締結した。

#### 4 残された主な課題

本委員会の設置目的に掲げられた諸課題について、調査及び研究を進めた結果、なお引き続き調査及び研究を要する次のような課題が残されていると考える。

- 文化・観光・経済の好循環に結び付く文化と産業を融合させる取組の推進
- 次世代の子どもたちが、学校教育や地域行事を通じて文化を大切にする心を育てる取組の推進
- 社寺や民俗芸能などの有形・無形の文化財を継承・発展させる取組の推進
- 文化庁と連携した日本文化発信の新たな取組の推進

# 文化力と価値創造に関する特別委員会 活動状況 <付録>

(令和7年5月～令和8年5月)

年月日	区分	主な内容
7. 5.23	委員会	1 委員長の選任 2 副委員長の選任 3 副委員長の順位
6.10	正副委員長会	1 出席要求理事者 2 確認事項 3 本日の委員会運営
6.10	委員会	1 出席要求理事者 2 確認事項 3 所管事項に係る事務事業概要 4 今期の委員会運営方針 5 委員間討議 「今後の調査・研究テーマについて」 6 今後の委員会運営
6.17	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
6.26	委員会	1 所管事項の調査 「地域文化の保存・継承の取組について」 参考人：株式会社オマツリジャパン 取締役 菅原 健佑 氏 2 委員間討議 3 閉会中の継続審査及び調査 4 今後の委員会運営
7.17	管内調査	▷ アニメ「鬼滅の刃」全集中展 -刀鍛冶の里編・柱稽古編-特別内覧会 (行催事等委員会調査)
8.25 ～27	管外調査	▷ 公益財団法人足立美術館 ▷ 島根県議会〔於：島根県立八雲立つ風土記の丘〕 ▷ 境港市議会〔於：水木しげる記念館〕 ▷ どんちっちサポート IWAMI 〔於：浜田まちづくりセンター〕 ▷ 島根県議会〔於：島根県芸術文化センター「グラントワ」〕
8.29	管内調査	▷ 創立80周年記念 京都工芸美術作家協会展 煌-KOGEI・つながる未来-開会式・内覧会 (行催事等委員会調査)
9.18	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
9.29	委員会	1 所管事項の調査 「次世代への文化継承の取組について」 参考人：池坊短期大学 教授 森川 佳代 氏 2 委員間討議 3 閉会中の継続審査及び調査 4 今後の委員会運営
10.11	管内調査	▷ 北野大茶会 ～きょうとまるごとお茶の博覧会グランドフィナーレ～ (行催事等委員会調査)

年月日	区分	主 な 内 容
7.11.13	管内調査	▷ 「Art Collaboration Kyoto」オープニングセレモニー (行催事等委員会調査)
11.22	管内調査	▷ Music Fusion in Kyoto 音楽祭 オリジナルオーケストラコンサート(綾部会場) (行催事等委員会調査)
11.23	管内調査	▷ Music Fusion in Kyoto 音楽祭 オリジナルオーケストラコンサート(宇治会場) (行催事等委員会調査)
12. 5	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
12.14	管内調査	▷ 令和7年度全国高校生伝統文化フェスティバル (行催事等委員会調査)
12.15	委員会	1 所管事項の調査 「文化資源としてのマンガ・アニメの可能性について」 参考人：学校法人京都精華大学 理事長 吉村 和真 氏 2 委員間討議 3 閉会中の継続審査及び調査 4 今後の委員会運営
8. 1.17	管内調査	▷ 恭仁宮特別史跡昇格記念講演×トークライブ (行催事等委員会調査)
1.19	管内調査	▷ <没後50年記念>特別企画展 モダンなときめき —智積院襖絵の魅力— (行催事等委員会調査)
1.29	管内調査	▷ 第44回京都府文化賞交流会 (行催事等委員会調査)
2.28	管内調査	▷ 京のかがやき2026 (行催事等委員会調査)
3. 9	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
3.10	委員会	1 所管事項の調査 「埋蔵文化財の保護・活用と地域との共存について」 参考人：京都府立大学 名誉教授 菱田 哲郎 氏 2 閉会中の継続審査及び調査 3 今後の委員会運営
4.11	管内調査	▷ <開館60周年記念> 特別企画展 第2回現代作家展 「竹内浩一 風が迎えて」内覧会 (行催事等委員会調査)
4.17	管内調査	▷ 特別展「原安三郎コレクション 北斎×広重」 特別内覧会 (行催事等委員会調査)
4.24	管内調査	▷ 「令和8年 新指定国宝・重要文化財」 特別内覧会 (行催事等委員会調査)
5.15	正副委員長会	1 臨時会中の委員会運営

年月日	区分	主な内容
8. 5. 15	委員会	1 中間報告 2 委員会活動のまとめ

委員会	7回	管内調査	14回 (14日)
正副委員長会	6回	管外調査	1回 (3日)

文化力と価値創造に関する特別委員会 管内外調査実施状況

1 管内調査

年度	年 月 日	調 査 先 及 び 調 査 事 項
5	5. 9. 8	▷ 文化庁京都移転記念事業 「きょう ハレの日、」 記念式典
	11.11	▷ 京都伝統文化の夢舞台
	12.17	▷ 令和5年度全国高校生伝統文化フェスティバル
	6. 2. 6	▷ 第42回京都府文化賞交流会
	2.25	▷ 京都・和食の祭典 2024～京の食文化発信～シンポジウム
6	6. 6. 4	▷ 企画展「五彩を感じて 印象の墨の世界」 及び同時開催「第5回京都工芸美術作家展」内覧会
	7. 5	▷ 特別展 日本の巨大ロボット群像 —鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—特別内覧会
	9.12	▷ 生誕140年記念 石崎光瑤 特別内覧会
	10.17	▷ 京都府立植物園「LIGHT CYCLES KYOTO」内覧会
	10.31	▷ 「Art Collaboration Kyoto」オープニングセレモニー
	11.22	▷ 日中平和友好条約45周年記念世界遺産大シルクロード展開会式
	12.17	▷ 令和6年度全国高校生伝統文化フェスティバル
	7. 1.30	▷ 第43回京都府文化賞交流会
	2. 8	▷ 京のかがやき2025～民俗芸能を未来へつなぐ～
	2.14	▷ 「カナレットとヴェネツィアの輝き」内覧会
	4.14	▷ 特別企画展「伊東深水 時代の美、つややかに」開会式
4.25	▷ 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」特別内覧会	
7	7. 7.17	▷ アニメ「鬼滅の刃」全集中展 -刀鍛冶の里編・柱稽古編-特別内覧会
	8.29	▷ 創立80周年記念 京都工芸美術作家協会展 煌-KOGEI・つながる未来-開会式・内覧会
	10.11	▷ 北野大茶会 ～きょうとまるごとお茶の博覧会グランドフィナーレ～
	11.13	▷ 「Art Collaboration Kyoto」オープニングセレモニー

- |         |   |
|---------|---|
| 11.22   | ▷ Music Fusion in Kyoto 音楽祭<br>オリジナルオーケストラコンサート(綾部会場) |
| 11.23   | ▷ Music Fusion in Kyoto 音楽祭<br>オリジナルオーケストラコンサート(宇治会場) |
| 12.14   | ▷ 令和7年度全国高校生伝統文化フェスティバル                               |
| 8. 1.17 | ▷ 恭仁宮特別史跡昇格記念講演×トークライブ                                |
| 1.19    | ▷ <没後50年記念>特別企画展 モダンなときめき<br>—智積院襖絵の魅力—               |
| 1.29    | ▷ 第44回京都府文化賞交流会                                       |
| 2.28    | ▷ 京のかがやき2026  |
| 4.11    | ▷ <開館60周年記念> 特別企画展 第2回現代作家展<br>「竹内浩一 風が迎えて」内覧会        |
| 4.17    | ▷ 特別展「原安三郎コレクション 北斎×広重」 特別内覧会                         |
| 4.24    | ▷ 「令和8年 新指定国宝・重要文化財展」 特別内覧会                           |

## 2 管外調査及び管内外調査

年度	年 月 日	調 査 先 及 び 調 査 事 項
5	5. 8. 22 ～23	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 福岡市役所〔於：Artist Café Fukuoka〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「Fukuoka Art Next」の取組について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ 大野城市役所〔於：大野城心のふるさと館〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大野城心のふるさと館での先端テクノロジーを使った取組について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ 古民家宿泊施設「HOTEL CULTIA 太宰府」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的資源を活用したまちづくりについて</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ 山口大学教育学部               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山口大学教育学部・附属小中学校歴食給食プロジェクトについて</li> </ul> </li> </ul>
6	6. 8. 27 ～28 (中止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 宇治市議会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇治学による小中学生への文化学習・伝承の取組について</li> <li>・ 現地視察（京都宇治茶房 山本甚次郎）</li> </ul> </li> <li>▷ 敦賀市議会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和食文化を支える「敦賀昆布ストーリー」創出・発信事業について</li> </ul> </li> <li>▷ 金沢市議会〔於：金沢 21 世紀美術館〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢 21 世紀美術館ミュージアム・クルーズ事業について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ 石川県議会〔於：いしかわ生活工芸ミュージアム〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石川県の伝統文化の普及・啓発、伝承の取組について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> </ul> <p>※台風 10 号の接近により中止</p>
	7. 1. 28 ～29	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 宇治市議会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇治学による小中学生への文化学習・伝承の取組について</li> <li>・ 現地視察（京都宇治茶房 山本甚次郎）</li> </ul> </li> <li>▷ 敦賀市議会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和食文化を支える「敦賀昆布ストーリー」創出・発信事業について</li> </ul> </li> <li>▷ 金沢市議会〔於：金沢 21 世紀美術館〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢 21 世紀美術館ミュージアム・クルーズ事業について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ 石川県議会〔於：いしかわ生活工芸ミュージアム〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石川県の伝統文化の普及・啓発、伝承の取組について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> </ul>

7	7. 8.25 ~27	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 公益財団法人足立美術館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域文化の発信拠点としての足立美術館の取組について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ 島根県議会〔於：島根県立八雲立つ風土記の丘〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史資源を生かした地域文化の創造と継承の取組について</li> <li>・ 施設視察</li> <li>・ 現地視察（山代二子塚古墳）</li> </ul> </li> <li>▷ 境港市議会〔於：水木しげる記念館〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水木しげる記念館と水木しげるロードを中核とした文化観光拠点の整備について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> <li>▷ どんちっちサポート IWAMI〔於：浜田まちづくりセンター〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石見神楽の保存・伝承に向けた取組について</li> </ul> </li> <li>▷ 島根県議会〔於：島根県芸術文化センター「グラントワ」〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島根県芸術文化センター「グラントワ」の取組について</li> <li>・ 施設視察</li> </ul> </li> </ul>
---	----------------	--

## 開催事等に係る委員会調査の結果概要について

文化生活部

開催事等名	主催者名 (招待者名)	会場 (市区町村名)	年 月 日
＜開館60周年記念＞ 特別企画展 第2回現代作家展 「竹内浩一 風が迎えて」内覧会	京都府、 京都府立堂本印象美術館、 京都新聞	京都府立堂本印象美術館 (京都市北区)	令和8年4月11日(土)
特別展「原安三郎コレクション 北斎×広重」 特別内覧会	京都府、 京都府京都文化博物館、 毎日新聞社	京都府京都文化博物館 (京都市中京区)	令和8年4月17日(金)
「令和8年 新指定国宝・重要文化財」 特別内覧会	文化庁、京都府、 京都府京都文化博物館	京都府京都文化博物館 (京都市中京区)	令和8年4月24日(金)